

<No. 98> 2020年6月号

医師と患者のためのオーソモレキュラー医学情報

「新型コロナウイルス感染（4）：健康的な集団免疫の獲得こそがパンデミックを収束させる」

国際オーソモレキュラー医学会 会長

点滴療法研究会 会長 柳澤厚生（スピッククリニック）

4月7日、改正新型インフルエンザ等対策特別措置法に基づく初の「緊急事態宣言」を発令されました。それにも関わらず、その後の1ヶ月に日本の新型コロナウイルス感染者数は2,935人から15,477人に、死亡者は69人から577人と急増しました。そして5月4日に政府は緊急事態宣言を5月末まで延長することを発表しました。今や長期戦となることも覚悟しなければなりません。

医療現場を見ると病院のスタッフは疲労で限界に近く、救急医療から慢性疾患の治療、そしてがん治療に至るまで本来の病院機能まで破綻しています。これからの日本の経済の低迷、失業者の増加が現実味を帯びています。

私たちは、この状況からどのようにしてパンデミックを収束させることができるのでしょうか。

#### ■抗ウイルス薬だけではパンデミックを抑えることはできない。

抗ウイルス薬、マラリア治療薬、AIDS治療薬など感染した重症患者を救うための薬物療法は重要である。しかし、これはすでに新型コロナウイルス感染による症状がでた患者の治療であり、感染を拡げている無症状感染者には無力であり、これではパンデミックを収束させることはできません。

#### ■ワクチンの開発を待っている時間がない

各国では新型コロナウイルスに対するワクチンの開発が急がれています。ワクチンを接種することで身体の中に抗体を作らせて免疫を獲得することが最善策と思えます。しかしながら、ワクチンは開発から臨床試験による有効性と安全性の確認、さらには数千万人分のワクチンを製造するには、少なくとも1年あるいはそれ以上の期間が必要です。しかし、この間でも各地でコロナウイルス感染は広がっていきます。

さらに、コロナウイルスのようなRNAウイルスは遺伝子変異を起こしやすく、せっかく作られたワクチンが効かなくなってしまう可能性もあります。ワクチンの副作用の問題も不安材料です。ワクチンは今回のような新しいウイルスの初期の流行に対する理想的な策ではありません。

#### ■<スウェーデンの対策>

##### 新型コロナウイルス感染に「集団免疫の獲得」

北欧のスウェーデンでは感染者を隔離せず、国民の日常活動を自由にさせて自然感染を起こさせる「集団免疫」の戦略をとりました。ワクチンがないなら、自然に任せて感染させることで抗体を獲得しようというものです。学校は閉鎖せず、飲食店も普通に営業し、人々はソーシャルディスタンスを守りながら普段と同じように生活をしました（写真1）。



<写真1> 2020年4月22日のストックホルム市内  
パンデミックの最中でも市民は普通に生活をしている。

多くの国がロックダウン（都市封鎖）状態にある中で、スウェーデンの試みは注目あるいは批判をされていました。しかし、4月になって新型コロナウイルス感染者数は増加し、死者は2,000人を超えていきました。これは隣国のフィンランドやデンマークの死者数を超えています。しかし、この死者数は老人保健施設の集団感染が半数を占めており、スウェーデンの保健当局は「高齢者施設で老人たちを守ることはできなかったが、市民の集団免疫は順調に獲得している」と報道しています。

### ■オーソモレキュラー医学の「健康的なコミュニティから生まれる集団免疫の獲得」がパンデミックを収束させる

集団免疫については、4月30日にオーソモレキュラー医学ニュースサービスからリリースされたリチャード・チェン医師（写真2）の提案が注目に値します。ワクチンによる集団免疫の獲得を待つのではなく、「栄養療法により理想的な高いレベルの健康なコミュニティに集団免疫を獲得させる」ことこそが、パンデミックを収束させると提案をしたのです。



<写真> 「健康的集団免疫の獲得」を提唱した リチャード・チェン医師

チェン医師は上海大学医学部出身ですが米国に帰化、現在はサウスカロライナ州で開業しています。彼は、中国で新型コロナウイルスの感染が始まったときに、すぐに上海へ飛び、現地で高濃度ビタミンC点滴の導入に尽力しました。アメリカに戻ってからは、国立衛生研究所に招かれてコロナウイルスと高濃度ビタミンC点滴療法の講演をしています。今や世界各国の学会でWeb講演をしています。

その彼が提案しているのが「健康的集団免疫の獲得」です。ワクチンも集団免疫の方法の一つです。多くの人々がワクチンでウイルス抗体を獲得すれば、免疫力の弱い人がウイルスを保有している人に接触する機会が減り、感染から守られるというものです。

しかし、現実には新型コロナウイルスに対するワクチンはありません。そうなるとう新型コロナウイルスのパンデミックを止める唯一の希望は、コミュニティの人々が自然感染で抗体免疫を持たせる集団免疫です。しかし、一つ間違えれば感染によって重篤になり、あるいは死に至るケースも出てくるかもしれません。このようなリスクから国民を保護せずに集団免疫を獲得させようと言うのは、残酷で非倫理的であり、国民から抗議を受ける可能性さえあります。この戦略をとったスウェーデンでは、免疫力の弱い高齢者死亡者の増加という犠牲を伴いました。

## ■日本オーソモレキュラー医学会の活動

チェン医師の考え方は、十分な栄養介入をコミュニティに導入することでした。国際オーソモレキュラー医学会が推奨するビタミンC、ビタミンD、亜鉛、セレン、マグネシウムを十分に摂取することでコロナウイルスの感染を防ぎ、万一罹患しても軽症ですませようとするものです<表>。

<表>

国際オーソモレキュラー医学会が提唱する  
新型コロナウイルスの感染予防と重症化を  
防ぐためのサプリメントの種類と推奨量

- 
- ① ビタミンC 1日3g以を分服
  - ② ビタミンD 1日2,000 IU  
1日5,000 IUで開始、3週目から1日2,000IUに減量
  - ③ 亜鉛 1日20 mg
  - ④ セレン 1日100 µg
  - ⑤ マグネシウム 1日500 mg)

---

新型コロナウイルスは感染力が強く、パンデミックが終わった後もウイルスは消滅せず、多くの人々を感染し続けることでしょう。すなわち、地球上で生きる限り、かなりの確率で新型コロナウイルスに感染することになります。このような状況ではワクチンと同等以上の効果を期待できる「オーソモレキュラー栄養医学による健康的なコミュニティから生まれる集団免疫の獲得」こそが効果的で、どこでも導入ができ、安全かつ安価な戦略だと考えます。

<参考ウェブサイト>

オーソモレキュラー医学ニュースウェブサイト

<http://orthomolecular.org/resources/omns/v16n27.shtml>